

# クルクマ 'シャローム' (*Curcuma* 'Sharome') の導入栽培について

田 中 國 昭

## 緒 言

クルクマ (*Curcuma*) は、熱帯アジア原産のショウガ科クルクマ属の植物で、花は美しいローズ色、草丈は60cm~70cmである。この属には約50種があるが、切り花ができる種は少ない。温度があれば周年開花する。'Sharome' は切り花として最適と思われたので、1994年度より、鉢花栽培に取り組んだ。繁殖は株分や分球で行われる。

## 材料と方法

プラスチック懸崖鉢5号に1球、球根が小さい場合は2球植えた。

用土は、土：鹿沼土：腐葉土=5：3：2の割合の混合とした。1995年度は4月24~25日の間に鉢植えを行った。置場はビニールハウスを利用し、発芽するまでは灌水をひかえめに、発芽後はたっぷり灌水を行い、日当たりの良い所において管理した。発芽までに約1ヶ月を要した。

## 結果と考察

8月頃から順次開花し、生育旺盛で、性質も強い。土質は選ばないが、乾燥するところでなければ特に場所は選ばないようである。

用土は有機質が多く、排水の良い水持ちがする土がよいと思われた。また高温を好み、発芽・発育には17℃以上が必要と思われた。唐湊果樹園の1993~1995年までの3年間の10月の平均温度は18.0℃、11月の平均温度は15.31℃であった。従って、11月に入ると葉は枯れた。日照りをよくすると、花の色が濃いピンク色になった。1球植えより2球植えにした方が、株立が多く、見栄えも出来上がりも良く、出荷期も早まった。開花中は、花にかからないように灌水すると8月の高温期にもかかわらず1ヶ月は花持ちした。

## 球根の掘り取り

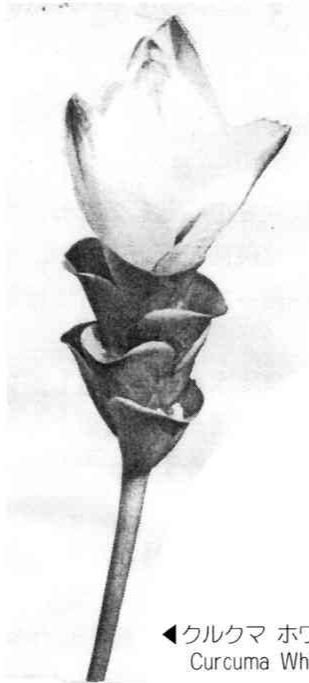
掘り上げは、鉢花終了後球根の肥大も終わり地上部が枯れた1月に掘り上げ、土をきれいにおとした。球根は寒さに弱いので凍傷、腐敗に気をつけて貯蔵した。

## 摘 要

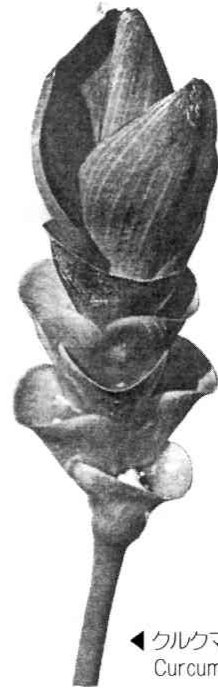
クルクマ 'シャローム' は、鉢植え栽培での営利栽培が可能ではないかと思われ、数年間は試作を考えている。植付け後は、天候等の条件により発芽や、育苗、生育が左右されるなど、栽培には不明な点も多々あるが、安定した栽培ができるよう努力していきたい。



▲クルクマ シャローム  
Curcuma Sharome



◀クルクマ ホワイト  
Curcuma White



◀クルクマ ダークピンク  
Curcuma Dark Pink

(フクカエン カタログより)



育苗中の状態。



11月の黄変状態。



クルクマシャロームの球根。